

多角的なアプローチで 輝く女性をサポート

大分信用金庫

〒870-0822 大分県大分市大道町3丁目4-42

◆業種：金融業 ◆従業員数：241人(男性116人・女性125人)

※令和4年8月1日時点



営業支援グループの職員の話し合い。
職員一人ひとりのスキルアップを目標に、営業店へ向うて細やかな指導を行う。

女性活躍 推進宣言

宣言日：令和3年3月15日

女性チームの活躍が 職場全体の士気を高める

当庫では女性の活躍を進めるため、平成29年に女性職員のみで女性活躍推進委員会を発足。ロールプレイング大会や営業店の指導など様々な企画を行い、結婚後も旧姓の使用を認めるなど女性目線の考えを形にしてみました。平成29年の発足当時2名だった女性管理職が現在4名に増えたことも、委員会の発足がきっかけになったように思います。また以前は結婚や出産といったライフイベントで退職したりパートになる女性職員が多かったのですが、現在はそれらを理由に退職する女性職員はおらず、人事部からの声掛けてパートから準職員や正職員に転換する職員が増えています。

- 現在、管理職コースの女性職員が3名であるが、2024年度までに5名にすることを目指します。
- 現在、渉外業務担当の女性職員が9名であるが、2024年度までに12名程度にすることを目指します。
- 女性の育児休業取得率100%を継続します。
- パート職員の準職員・正職員への転換を推進します。



大分信用金庫 人事部
部長 笠木 雅巳さん

仕事の経験値を増やし モチベーションをアップ

現在では、かつて金庫の中で男性のイメージが強かった渉外担当として活躍する女性もおりますが、男性では気づかない細かな部分に目が届く女性ならではの営業スタイルを実感しますね。

管理職になるには融資などの仕事の経験値を増やすのはもちろん、モチベーションを高めてもらうことが大切。当庫では庫内研修はもちろん、昨年は大分合同新聞主催の次世代女性リーダー育成研修に参加。また女性活

躍推進委員会の企画で、4名の女性管理職の体験談を聞く機会も設けています。型にはまったマニュアルではなく、ロールモデルからリアルな苦労話や達成感を聞く機会が良い刺激になると考えています。

産前産後のケアで 不安を取り除く試みも

長く働く中で結婚や出産を経てキャリアを積んで欲しい思いがあり、復職率も100%を維持しています。育児休暇中に大きく変わった庫内の制度は通達文書を送付していますし、復職後は自宅から近い支店に勤務先

を配置する配慮も。また今年2月から運用をスタートした福利厚生が、子育て支援の一環として、出産前から産後までの女性に関する不安や悩みを助産師にケアしてもらう際の利用料金を、一部負担するという取り組みです。当庫の女性職員と男性職員の配偶者が福利厚生を受けられることで、産前産後の環境を整えることで、心身のケアを行い安心して復職して欲しいという思いが根底にあります。女性が社会で活躍するには男性職員のバックアップも欠かせず、育児を5日間有給扱いにすることで、男性職員も取得率100%を誇っています。

今後の希望は、現在の女性管理職に続くポジションの職員が増えて欲しいということ。やみくもに女性活躍や管理職登用を推進するのではなく、幅広い業務の経験を積んで自信をつけてもらい、自然と管理職に手を挙げてくれる女性が増えることを期待しています。

取組内容

- パートから準職員への転換は5年間で8名、パート・準職員から正職員への登用制度により女性正職員は5年間で7名増加、女性管理職は5年間で1名(1.5%)⇒4名(6.5%)となっている。
- 男性の仕事とされてきた融資業務等に女性を配置し、職域拡大に努めている。
- 「女性活躍推進委員会」を組成し、セミナーや経営陣への提言を実施し、働きやすい職場環境を整備。
- 男性も育休を取得しやすい様に、育休を5日間まで有給とし、男女を問わずワークライフバランスの取れた働きやすい職場づくりを実施。